

第99号
(令和第4号)
令和2年7月31日



三和

発行
三和公民館
金沢市上荒屋4丁目82番地
TEL 240-7530

は三和公民館の館章です

コロナをのみこめ 鯉のぼり!



～新型コロナウイルスの終息を願って～
三和児童館によるこいのぼり

館長就任にあたって

三和公民館長 東 学

今年に入ってから新型コロナウイルス感染症拡大により、公民館運営・行事に支障をきたしている状況が続いており、閉館させて頂いておりましたが、地域住民の皆様様の健康を第一と考えての処置であり、何時終息するか分からない状況であります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

この度、公民館運営に九年間ご尽力された越村徳二氏が退任され、後任として四月より公民館長をお受けすることになりました。東学です。昨年一年間、副館長をやらせて頂きましたが、殆ど公民館の活動内容等は、二つつが新しい体験ばかりでした。

私は、三和校下に住まわさせて頂いてから人生の半分が過ぎようとしています。(約三十年たちます)若い頃は、地域の皆様とのふれあひも少なく、仕事中心の生活を送っていたように思います。以前勤めていた会社を

退職し、第二の人生を歩みだしてから、少し心の落ち着きや時間の余裕ができて、町会行事にも参加する機会が増えてきたように思います。そんな時、町会役員をやつてほしいとの依頼があり、悩んだ末にやらせて頂く事となりました。町会を通して公民館行事にも参加させて頂きました。

今回、公民館長という大役であり戸惑いを感じておりますが、引き受けた以上、地域の発展と住民同志の親睦を深めるべく努力させて頂きます。誰もが気軽に入りやすい憩いの場を提供できるように、開かれた公民館運営を役員丸となって目指してまいります。

人と人との出会いは、財産であると思っております。今まで出会った方に育てて貰ったことを感謝申し上げますと共に、新しい出会いを楽しみにしています。宜しくお願いいたします。



蛙声会 (夏の句会)

故郷は茄子なすびそうめん祖母の味
ふる里の水辺に似合う合歡ねむの花
濁流の川のカや男梅雨
何もせぬことに疲れし梅雨の昼
親子連れ茅ちの輪くぐりに願い込め
初夏の花摘んで差し出す笑顔の子
ミニトマト日毎の雨に青涼し
一人居の父の部屋にも夏暖簾のれん
黒南風くろはえや人なきブランコゆらしけり

畠中正樹
花尾 則子
細川 衣
齊藤 阿津子
大森 さつき
畠中 美智子
角山 芳枝
脇坂 景子
大西 澄雄



蛙声会句会の様子

俳句会「蛙声会」について
蛙声会代表 畠中 正樹

去年、発足五十周年を記念して、句集「蛙声」を刊行し、北陸中日新聞にも紹介記事が載りました。

活動は毎月一回、公民館で句会を開き、互いに学び合うことと、その成果を会報「蛙の声」に発表することです。なお、会報は現在六六号になっています。

今後、会員相互の信頼と融和を第一にして、切磋琢磨しあい、実感、実景の句を重んじて、余韻、余情を持った質の高い句を目標に、楽しい句会にしたいな、と思っております。

年会費は千二百円。

コロナと大規模災害 自助と近助
防災士 三田村 哲

新型コロナウイルスと呼ばれる感染症が猛威を振るい、七月二十日現在、全世界で約一五〇〇万人の感染者と六〇万人強の死者が出ており、今も一部地域では感染拡大が続いている状況です。日本でも第二波と思われる感染者が発生している現状です。

感染症の大流行では、約百年前にもスペインかぜと呼称されたインフルエンザの大流行で、四千万人(二説では一億人とも)の死者が出て約三年間猛威を振るい第二次世界大戦の終結にも繋がったとさえ言われています。ですが、治療薬やワクチンが開発されていない新型コロナウイルス感染症に対しては、

重要

- マスクの着用
- 手洗いの励行
- 3密を避ける

等の自分自身を守る行動が感染防止・拡大に最も効果的で大事だと言われています。

大地震や津波・豪雨災害等大災害に対処するためにも同じように、自らの行動・自助が最も大事で効果的です。災害が起きてからの自分と家族の命を確保する自助とともに、事前に準備・備えておく次のような自助行動が皆さんの命を助けることとなります。

- 家具の固定転倒防止等の備え
- 最低限の食糧・水の確保
- 非常食やラジオ・懐中電灯・薬等を入れる持ち出し袋の準備
- 非常時に備えて家族の連絡方法の確認
- 自宅や勤務先周辺の危険箇所や避難経路の確認
- 防災訓練への積極的参加

そしてもう一つ大事で効果的なのが「近助」です。もしもの時に役に立つのは、遠くの親戚より近くの他人です。向こう三軒両隣の付き合いの中で、日頃から災害情報の交換と災害発生時の避難呼びかけ・助け合いを実現しましょう。